

コロナ禍でのシェアリングネイチャー活動における 「指針の位置づけ」と「指導員に求められること」

2020. 12. 25

公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会
安全対策委員会

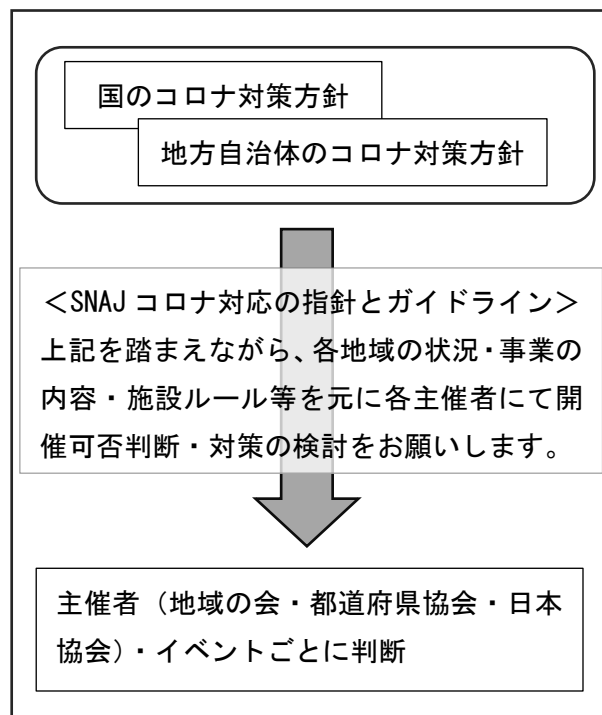
2020年、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きな年となりました。さらにこの状況は継続する可能性があります。ネイチャーゲーム指導員のみなさまにおかれましては、引き続き、参加者はもちろん、講師、スタッフが「安心できる自然体験プログラム」の提供にご協力をお願いいたします。

1) 指針の位置づけ

日本協会の指針は右の図の位置にあります。イベントを開催する場合には、地域ごとに最新情報を入手し、それに合わせた対応をお願いしています。

2) 本指針に求められること

このような時期であっても、人と自然をつなぐ機会を積極的に作りたい一方で、このような時期だからこそそのリスクについて考えることが大切です。



イベント開催を検討するにあたって、大切にしていきたいこと

- ① わたしたち（各会・協会など）がSN活動をする目的や理由は何かを考えること
- ② 最新の情報を得た上で、開催する/しないを考え判断すること
- ③ 開催にあたっては中止基準と当日対応について、想像しシミュレーションを重ね準備すること

これらを各地域の会、都道府県協会、任意グループにおいて、ひとりひとりが考えるとともに、それを持ち寄って、ぜひ仲間と一緒に考えてください。また指針をクリアできそうにないという不安が少しでもある場合は勇気を持って開催しない・中止するという判断が大切です。私たち自身が迷わず判断し、行動できるよう、事前および当日の中止基準を整理しておきましょう。

3) 新型コロナウイルス感染防止にむけて「資格ごとに取り組んでいただきたいこと」

ネイチャーゲームリーダー	参加者(とその家族)、クライアント、指導員の安全・安心に取り組んでください
〃 コーディネーター	共に活動する仲間が考えを共有し、話し合う場を作ってください
〃 インストラクター	感染対策をふまえたアクティビティや運営面の工夫の整理と発信に積極的に関わってください
〃 トレーナー	各指導員が「自分事」として考えていけるようになることが日本協会の目指す理想です。この理想にむけた情報発信、伝達に協力してください

いま、私たちは経験のないことに向き合っています。そして社会状況は今後変わっていく可能性もあり、それに応じて指針も変わっていきます。しかし「私たちが、私たち自身で考え決めていく」という流れには変わりはありません。これからも参加者やそのご家族、スタッフ、関わる皆様の安全と安心とを第一に、シェアリングネイチャーの理念を実現していく団体であることを社会に発信してまいります。皆様のご協力をお願いいたします。